

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人 愛知学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	歯科技工士科 本科	夜・通信	72	6	
	歯科技工士科 専修科	夜・通信	64	6	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページで公表 HP アドレス : <a href="https://gikou.agu.ac.jp/media/2023082-115727-285.pdf">https://gikou.agu.ac.jp/media/2023082-115727-285.pdf</a> <a href="https://gikou.agu.ac.jp/media/2023082-115802-110.pdf">https://gikou.agu.ac.jp/media/2023082-115802-110.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人 愛知学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページで公表 <a href="http://www.aichi-gakuin.jp/officer/index.html">http://www.aichi-gakuin.jp/officer/index.html</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	学校法人愛知学院 理事長 曹洞宗 宗議会議員	2022/10/26 ～ 2024/10/25	法人業務の総理
非常勤	曹洞宗 宗議会議員	2022/10/26 ～ 2024/10/25	学校法人の運営
非常勤	曹洞宗 宗議会議員	2022/10/26 ～ 2024/10/25	学校法人の運営
非常勤	曹洞宗 宗議会議員	2022/10/26 ～ 2024/10/25	学校法人の運営
非常勤	曹洞宗 宗議会議員	2022/10/26 ～ 2024/10/25	学校法人の運営
非常勤	ジェイアールセントラルビル株式会社 元代表取締役社長	2022/4/1 ～ 2024/3/31	財務
非常勤	弁護士	2022/4/1 ～ 2024/3/31	コンプライアンス
非常勤	株式会社トーエネック 元顧問	2022/4/1 ～ 2024/3/31	教育
非常勤	愛知学院大学学長補佐 特任教授	2022/4/1 ～ 2024/3/31	教育
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人 愛知学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>平成 26 年(2014 年)に全国歯科技工士教育協議会が作成した歯科技工学教育モデル・コア・カリキュラムに従い本校のカリキュラムを作成し、講義や実習の各担当者がシラバスを作成する。作成されたシラバスが、カリキュラムに合致しているか点検し、修正が必要な場合は、シラバスを作成した担当者と話し合い修正する。シラバスは毎年 4 月のオリエンテーション時に学生に配布するキャンパスガイドに記載。同時期にホームページで公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>キャンパスガイドと本校ホームページで公表。 HP アドレス： <a href="https://my.ebook5.net/gikousen/LLmQsZ/">https://my.ebook5.net/gikousen/LLmQsZ/</a> キャンパスガイドは歯学部事務室に設置している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>課題の提出状況や受講態度から学修意欲を測り、講義科目ではレポートや定期試験により評価し、実習科目では実習作品等の提出、実技試験及び筆記試験により評価している。合格点(60 点)未満の学生には、勉強するための一定期間をおいて再試験を実施し、合格点に達したことを確認している。</p> <p>卒業については、卒業試験(学説・実技)を実施している。不合格(60 点未満)の学生に対しては、再試験を実施し、合格点に達した学生に卒業を認めている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>講義科目では春学期試験、秋学期試験の成績、実習科目では製作課題等の成績をもって進級の可否を判定し、卒業判定においては卒業試験の成績をもって判定を行っている。</p> <p>各授業科目の評価は次のとおりで、その分布状況を管理し、HPにて公表している。成績は年度始めに各学生の保証人宛に郵送している。</p> <p>AA(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)とし、AA・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。</p> <p>受験資格については、講義では講義回数の2/3、実習では実習回数の3/4以上(遅刻・早退は3回で1回の欠席とみなす)出席しなければ受験資格を失効し評価が行われない。</p> <p>合格点(60点)未満の学生には、勉強するための一定期間をおいて再試験を実施し、その結果は可または不可で評価している。</p> <p>なお、やむを得ない理由により受験できなかった場合は本人の願い出により追試験を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>キャンパスガイドと本校ホームページで公表。 HPアドレス： <a href="https://my.ebook5.net/gikousen/LLmQsZ/">https://my.ebook5.net/gikousen/LLmQsZ/</a> キャンパスガイドは歯学部事務室に設置している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育の理念や目標、ディプロマポリシーを定め、本校学則に定められた所定の単位を修得した者に卒業を認定している。</p> <p>卒業判定は2年次の学年末に行われ、原則として、1・2年次において履修すべき全科目で合格し、さらに卒業試験に合格していなければならない。</p> <p>卒業試験(学説・実地)では、不合格(60点未満)の学生に対して再試験期間を設けて再試験を実施し、合格点に達した学生に卒業を認めている。</p> <p>具体的な方法を次に示す。</p> <p>学説試験では、2つの科目群に分けて試験を実施している。</p> <p>① 科目群で60%の正答が得られない場合はその科目群 ② 科目群2つの合計で60%の正答が得られない場合はすべての科目群</p> <p>実地試験では、3つ科目で試験を実施している。</p> <p>① 実習科目で60%の評価が得られない場合はその実習科目 実習科目3つの合計で60%の評価が得られない場合はすべての科目実習 ② 実習科目3つの合計で60%の評価が得られない場合はすべての科目実習</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>キャンパスガイドと本校ホームページで公表。 HPアドレス： <a href="https://my.ebook5.net/gikousen/LLmQsZ/">https://my.ebook5.net/gikousen/LLmQsZ/</a> キャンパスガイドは歯学部事務室に設置している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人 愛知学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/bs.pdf">http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/bs.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/shikin.pdf">http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/shikin.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/zaisan.pdf">http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/zaisan.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2022/jigyou_report2022.pdf">http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2022/jigyou_report2022.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/kansa.pdf">http://www.aichi-gakuin.jp/finance/pdf/2023/kansa.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科技工士科 本科	歯科技工士			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	73 単位時間/単位	単位時間 35/単位	単位時間 3/単位	単位時間 35/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		32人	0人	4人	42人	46人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校の教育理念、教育目標およびディプロマポリシーに基づきカリキュラムを作成し、講義や実習の各担当者で作成されたシラバスが、適正なものとなっているかを点検し、修正が必要な場合は、作成者と話し合い修正する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の評価は下記のとおりで、その分布状況を管理している。 AA(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)とし、AA・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。 課題の提出状況や授業態度によって学習意欲を図り、講義科目では定期試験の成績安あるいはレポートにより評価し、実習科目では課題作品の提出、実習態度、実技試験及び筆記試験等で評価している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 教育の理念や目標、ディプロマポリシーを定め、本校学則に定められた所定の単位を修得した者に卒業を認定している。</p> <p>卒業判定は2年次の学年末に行われ、原則として、1・2年次において履修すべき全科目で合格し、さらに卒業試験に合格していなければならない。</p> <p>卒業試験(学説・実地)では、不合格(60点未満)の学生に対して再試験期間を設けて再試験を実施し、合格点に達した学生に卒業を認めている。</p> <p>具体的な方法を次に示す。</p> <p>学説試験では、2つの科目群に分けて試験を実施している。</p> <p>①科目群で60%の正答が得られない場合はその科目群</p> <p>②科目群2つの合計で60%の正答が得られない場合はすべての科目群</p> <p>実地試験では、3つ科目で試験を実施している。</p> <p>①実習科目で60%の評価が得られない場合はその実習科目実習科目3つの合計で60%の評価が得られない場合はすべての科目実習</p> <p>②実習科目3つの合計で60%の評価が得られない場合はすべての科目実習</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 成績評価によって学修の状況を把握し、学生ごとにきめ細やかな学修アドバイスを行い、学修意欲を高めるための指導をしている。</p> <p>必要に応じてマルチパーパス・アワーを活用し、補講、実習の個別指導、再試験および国家試験対策などを行っている。</p> <p>また、成績不振者には、個別面談や個別の学習指導を適宜行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (89%)	3人 (18%)	14人 (82%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 歯科医院、歯科技工所			
(就職指導内容) 就職ガイダンスを実施し、就職活動の方法について指導している。企業説明会を受け入れ、学生と企業とが接触する機会を設けている。また、個別面談を実施し、希望する具体的な進路や目標の実現に向けてサポートしている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科技工士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2.5%

(中途退学の主な理由) 学力不振、あるいは、病氣療養のため
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任やスクールカウンセラーによる面談において学業成績が不振となる原因を探り、マルチパーパスアワーなどを利用し個別指導を行い、成績の回復・向上を図っている。

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科技工士科 専修科	歯科技工士			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	64 単位	11 単位	4 単位	49 単位	0 単位	0 単位
		単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		5	0人	4人	48人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校の教育理念、教育目標およびディプロマポリシーに基づきカリキュラムを作成し、講義や実習の各担当者で作成されたシラバスが、適正なものとなっているかを点検し、修正が必要な場合は、作成者と話し合い修正する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の評価は下記のとおりで、その分布状況を管理している。 AA(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)とし、AA・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。 課題の提出状況や授業態度によって学習意欲を図り、講義科目ではレポートにより評価し、実習科目では課題作品、出席状況、実習態度および臨床報告の発表にて評価している。合格点(60点)未満の学生には、個別指導を行い合格点に達したことを確認している。
卒業・進級の認定基準
（概要）教育の理念や目標、ディプロマポリシーを定め、本学学則に定められた所定の単位を修得した者に卒業を認定している。 進級判定は学年末に行われ、原則として、その学年において履修すべき全科目の講義と実習に合格していなければならない。 卒業判定は2年次の学年末に行われ、原則として、1・2年次において履修すべき全科目の講義と実習に合格していなければならない。
学修支援等
（概要）成績評価によって学修の状況を把握し、学生ごとにきめ細やかな学修アドバイスをを行い、学修意欲を高めるための指導をしている。 必要に応じてマルチパーパス・アワーを活用し、補講、個別指導などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 歯科医院、歯科技工所			
（就職指導内容） 就職ガイダンスを実施し、就職活動の方法について指導している。また、個別面談を実施し、希望する具体的な進路や目標の実現に向けてサポートしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科技工士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任やスクールカウンセラーによる面談において学業成績が不振となる原因を探り、マルチパーパスアワーなどを利用し個別指導を行い、成績の回復・向上を図っている。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
本科1年	200,000円	860,000円	257,500円	
本科2年	円	870,000円	257,000円	
専修科1年	200,000円	860,000円	257,500円	
専修科2年	円	870,000円	250,000円	
修学支援（任意記載事項）				



b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://gikou.agu.ac.jp/media/2023074-180819-404.pdf">https://gikou.agu.ac.jp/media/2023074-180819-404.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校の現状を把握するため、教育の目標およびポリシーに沿った授業アンケートを実施、集計した結果を自己評価委員会へ報告している。自己評価委員会は、顧問、校長、歯学部附属病院技工部 歯科技工士長、歯学部事務長、その他校長が指名する者(学外者を含む)から構成され、授業アンケートや学校の現状などをもとに下記の9項目の評価と今後の課題について報告書にまとめている。 【評価項目】 (1)教育理念・目的、(2)学校運営、(3)教育活動、(4)学修成果、(5)学生支援、(6)教育環境、(7)学生募集、(8)法令等遵守、(9)社会地域貢献 自己評価委員会が作成した報告書を教員会へ報告、教員会において今後の改善方法等を協議し、その結果を学生支援、授業の改善、学習環境の整備などより良い学校づくりに活かしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
愛知学院大学歯科技工専門学校	2023/4/1～2024/3/31	顧問
愛知学院大学歯学部附属病院	2023/4/1～2024/3/31	附属病院歯科技工部 歯科技工士長
愛知学院大学歯学部事務室	2023/4/1～2024/3/31	事務長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://gikou.agu.ac.jp/media/2023074-180819-404.pdf">https://gikou.agu.ac.jp/media/2023074-180819-404.pdf</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) (別紙)
-------------------------------------

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H123310000044
学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人 愛知学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
	年間	前半期	後半期	計
		0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。